

埼玉県特集

埼玉県公営企業管理者

立川 吉郎 氏に聞く



首都圏中央連絡自動車道(圏央道)の整備で、その中央部に位置する埼玉県への企業立地が活気づいている。同県には29件、面積で419haの新規需要があるとされ、県内全体では当面300ha

の整備計画を持つ。埼玉県企業局はこのうち100haを担うことを目標とする。4月に就任した公営企業管理者の立川吉郎氏は「企業誘致は経済活性化の力

を握る。ニーズに応えるようスタッフを高め、松伏田島は水質、騒音など環境面を見込む企業の誘致を進める。松伏田島は水質、騒音など環境面を現地調査し、18年度の事業スタートを目指す」

早期から企業の声を反映 オーダーメード方式の整備も

「圏央道整備の効果が着実に出ています。」と強調する。

「圏央道沿線の六ヶ所の産業団地には、YKを結ぶ一方、杉戸町深輪産業団地は6社に分譲済みだ」

「県東部では、草加柿木地区と雪居スマート-C地と雪居スマート-C西地区産業団地は、今秋以降の分譲を目指しています。これらに続くプロジェクトは、

「県東部では、草加柿木地区は交通アクセスが良く、雇用の確保が容易である。企業にとっては最近の企業立地件数は50件を達成した。内訳は製造業26件、流通加工業17件、食品製造業3件、研究所など4件という業種構成となっています。直近では杉戸屏風深

17年度の分譲が近づいています。これまで事業や調査を進めています。草加柿木はJR越谷レイクタウン駅や県企業局の柿木浄水場が近く、在の用地ストックは約0.7haにすぎない。

「17年度予算は調査費を増し、新候補地区の発掘や早期の事業化を検討する。多くの

引き合いに対し、現

在の用地ストックは約

0.7haにすぎない。

既存産業団地の拡張や

立地検討企業と早期か

ら意見交換を行う手

ルケースになります。

チャンスメーカー埼玉戦略Ⅳ 立地企業一覧(公表分のみ) 17.1~3

企業名	本社所在地	立地先	業種	面積(ha)
亜細亜食品	東京都板橋区	三芳町	食品製造	0.2
さくらフーズ	北海道俱知安町	春日部市	野菜カット(食料品製造)	0.2
啓和運輸	入間市	入間市	倉庫業(流通加工)	1.4
荒井鉄筋工業所	桶川市	伊奈町	鉄筋加工業(金属製品製造)	0.4
東邦化研工業	東京都足立区	さいたま市岩槻区(岩槻工業団地)	塗料製造販売(化学工業)	0.6
サンシャイン企画	日高市	日高市	ギフト商品製造販売(流通加工)	0.2
トミゼンフーズ	さいたま市南区	戸田市	菓子製造(食料品製造)	0.2
賛光精機	本庄市	上里町	金属製品製造	1.3
PALTAC	大阪府中央区	杉戸町(杉戸屏風深輪)	一般用医薬品卸売(流通加工)	6.6
オーム電機	東京都豊島区	杉戸町(杉戸屏風深輪)	電機製品製造・販売(電気機械器具製造)	1.7
シリベニア	東京都板橋区	本庄市	めっき加工(金属製品製造)	0.7

圏央道延伸で加速する企業誘致

企業立地

1000件目指す

県企業立地課による、企業誘致を本格的にスタートさせた05年から16年12月末までの累計の新規雇用者は2万9200人、投資総額は1兆3207億円となり、相当な経済効果を生んでいる。

よく首都圏中央連絡自動車道(圏央道)の埼玉県内の全線開通の企業立地への効果は大きく、901件中、507件が圏央道地域となっているのも埼玉県企業立地の特徴といえよう。

現在、1000件の大台達成に向けて最終的な誘致活動に入っている。その名も「チャンスメーカー埼玉戦略Ⅳ」計画をス

タートさせて1年余りが経過するが、16年度第3四半期(16年4月~12月)までの累計の企業立地件数は50件を達成した。内訳は製造業26件、流通加工業17件、食品製造業3件、研究所など4件と

企業にとっては最近の企業立地件数は50件を達成した。内訳は製造業26件、流通加工業17件、食品製造業3件、研究所など4件と

<p